第2回
JLAジュニアライフセービング
クラブハウス実施報告書

公益財団法人　日本ライフセービング協会
ライフセービング教育本部　地域教育推進委員会　委員長　木島 悠太朗

JLA Jr LIFESAVING CLUBHOUSE

1、実施概要

2022 年 6 月 11 日
木島　悠太朗

第 2 回 JLA ジュニアライフセービングクラブハウス事業

■　概要

本事業は、コミュニケーションの機会が少なくなりがちなジュニア指導者に対して、交流の機会や、研修機会を提供することを目的として実施する。

「指導者―指導者」…指導者コミュニティを強化し、ノウハウや課題を共有。
「指導者―JLA」…実践知の還元、JLA 動向の共有。
「指導者―society」…学校教育機関、自然体験・社会教育・地域教育に関する企業、任意団体

キーワード：リレーションシップの強化。顔が見える関係。困ったときにはお互いにフォローしあえる。

topics
学校教育連携強化「子どもたちの海の事故を減らそう～夏休みを迎えるにあたって」

- ライフセービング経験のある教員を中心としつつ、募集に際して制限はしない。講義形式で実施。その後意見交換等のコミュニケーションをとる機会をもつ。地域的な連携促進のためできる限り、同一か近い地域でグルーピングする。

【整理】　統一テーマ：学校教育×ライフセービングの事例共有「講義形式」

- ライフセービング経験のある教員に向けた訴求点：自ら実践
- ライフセービング経験のない教員に向けた訴求点：学校教育×ライフセービングに何ができるのかを知る
- ライフセーバーに向けた訴求点：近隣の学校に向けて提案できる

■　実施日時

6 月 9 日木曜日 18:30~20:30（2 時間）

■　事業目標

- 全国の小中学生に対し、ライフセービングを学ぶ機会の創出をめざします(目標:全児童生徒数の 60%)。(JLA グランドデザイン 2031 より)
- JLA ジュニアライフセービングクラブハウス年間目標参加者数 50 名。(2022 年度)
- ジュニアライフセービングの指導プラットフォーム整備の一環として、指導者間コミュニティを活性化し、リレーションシップの強化を図る。
- 「指導者同士お互いの顔がわかり、近くのクラブがどんな活動をしているのか知っている。」⇨このことから、クラブ間の合同イベントや、器材、指導員の共有、講習会の共同開催など活発な交流を引き出していく。
- 「遠く離れた環境や、タイプの違う活動からも学び合える。」⇨画一的な活動に偏ることなく、広く豊かな手法に目を向け、海を楽しみ、海から学ぶ、子どもたちを中心とした豊富な指導実績を共有の財産とする。

■　事業内容

オンラインによる意見交換会、顔合わせ会、及び研修などを実施する。

■　事業役割分担

＜事業主担当＞
木島　悠太朗
＜グループワークファシリテーター＞
教育本部委員

■　主な SDGs の関連項目：（ターゲット 4.1、4.7）

■　タイムテーブル

2 時間 00 分
18:30～18:40　開会式　委員紹介、クラブハウス事業概要説明（10 分）
18:40～18:50　講義①「ライフセービング×学校教育連携先行事例」※鹿嶋 LGT 担当高崎様（10 分）
18:50～19:10　講義②「ライフセービングクラブと地域、学校の包括的連携事例」※御宿 LSC 代表林様（20 分）
19:15～19:20　講義③「学校の先生が実践する学校活動内の取り組み」※安達委員（10 分）
講義研修中の質疑はチャットにて投稿
19:25～19:45　グループワーク各 5 名　※ファシリテーター 1 名（委員）ただし各テーマ講師と主担当は質疑の回答についてチャットで相談するので、できるだけ各グループに入る場合は 2 名で（20 分）
19:50～20:10　各グループ発表・質疑応答（20 分）
20:15～20:30　閉会式+終わりのことば※松本本部長

■　事業準備

告知依頼：5 月 23 日月曜日（事務局へ）
募集期間：5 月 25 日水曜日ごろ～（2 週間）
実施日：6 月 9 日木曜日 18:30～

■　準備物

要綱、案内（フライヤー）、ワークシート、申し込みフォーム、アンケートフォーム、LINE オープンチャットの設定（1 週間限定）

■　申し込み

google フォームによるエントリー
締切 6 月 8 日水曜日

■　方法

当日：Zoom を用いてオンラインで実施
開催後 1 週間：LINE オープンチャット設定（質疑、各講義の録画データ公開等予定）

講義

- 講義①「ライフセービング×学校教育連携先行事例」

  鹿嶋LGT　担当　高崎様（10分）

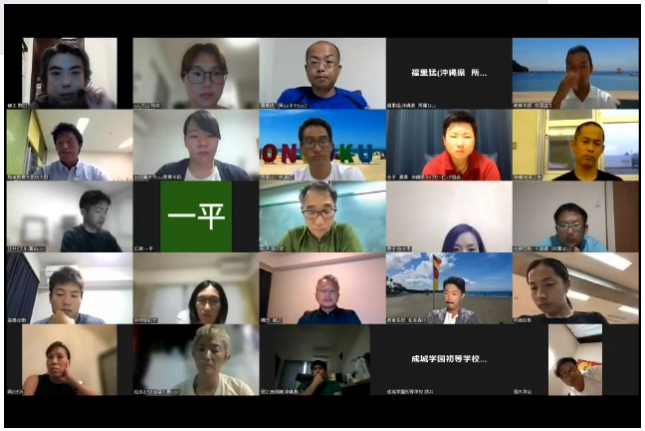
- 講義②「ライフセービングクラブと地域、学校の包括的連携事例」

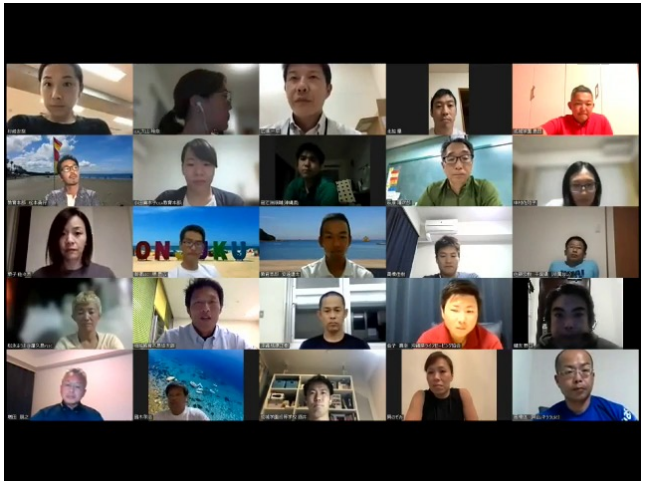
  御宿LSC代表　林様（20分）

- 講義③「学校の先生が実践する学校活動内の取り組み」（e-Lifesaving）

  日本ライフセービング協会教育本部学校教育推進委員会　安達委員（10分）

2、参加者情報





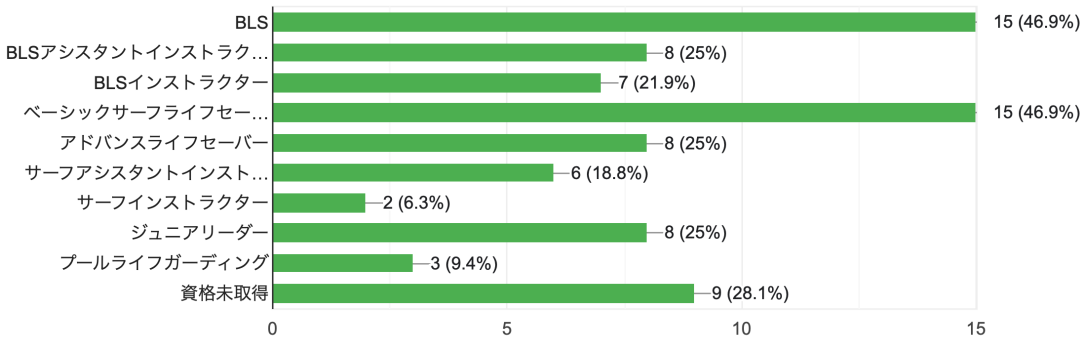
北海道	2
新潟県	1
富山県	1
東京都	6
千葉県	1
神奈川県	6
大阪府	1
兵庫県	1
鳥取県	2
香川県	1
大分県	1
鹿児島県	1
沖縄県	5

提供元: Bing
© GeoNames, Microsoft, Zenrin

2、参加者情報

所有資格

32 件の回答



所属団体
NPO法人皆生ライフセービングクラブ
NPO法人鹿嶋ライフガードチーム
岡山/キララLC
沖縄県
沖縄県ライフセービング協会
屋久島ライフセービングクラブ
九十九里ライフセービングクラブ
硬式野球部
札幌国際大学のbls
鹿嶋LGT
勝浦lsc
常陸ライフセービングクラブ、波崎ライフセービングクラブ
逗子SLC
成城学園高等学校ライフセービングクラブ
西浜SLSC
大分市ライフセービングクラブ
日本ライフセービング協会沖縄県支部
熱海ライフセービングクラブ
八重山ライフセービングクラブ
富山ライフセービングクラブ
愛知LSC

2、参加者情報

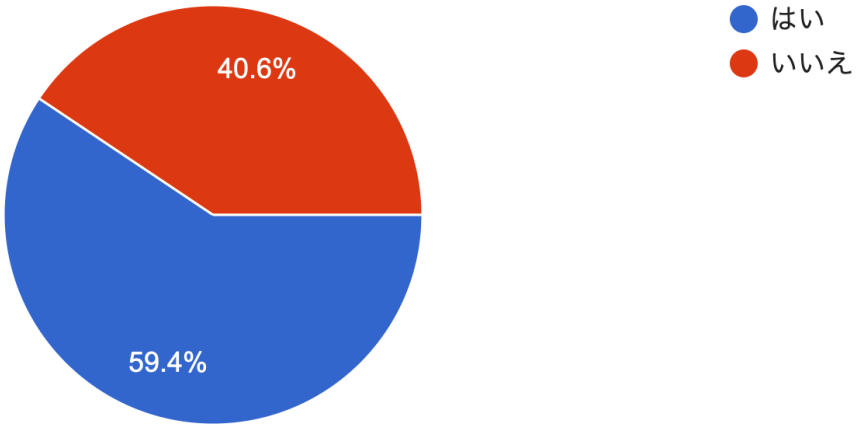
ジュニア活動について

32 件の回答

3、e-Lifesaving

e-lifesavingを知っているか

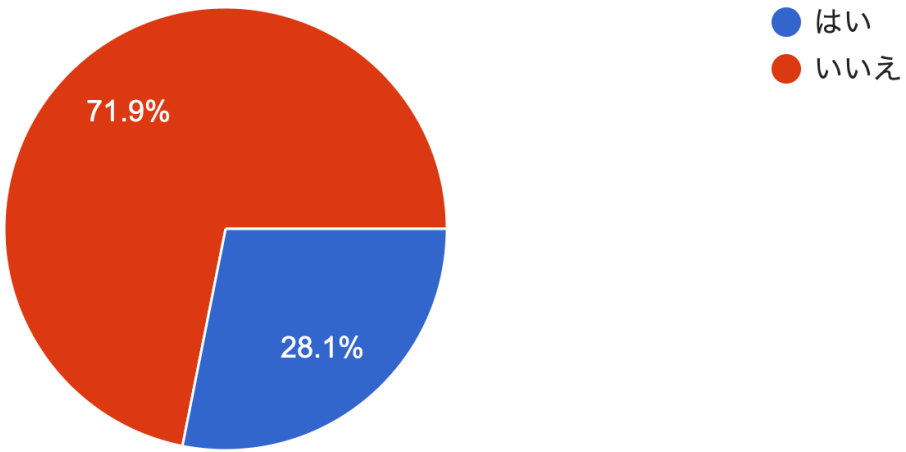
32 件の回答



3、e-Lifesaving

e-lifesavingを利用したことがあるか

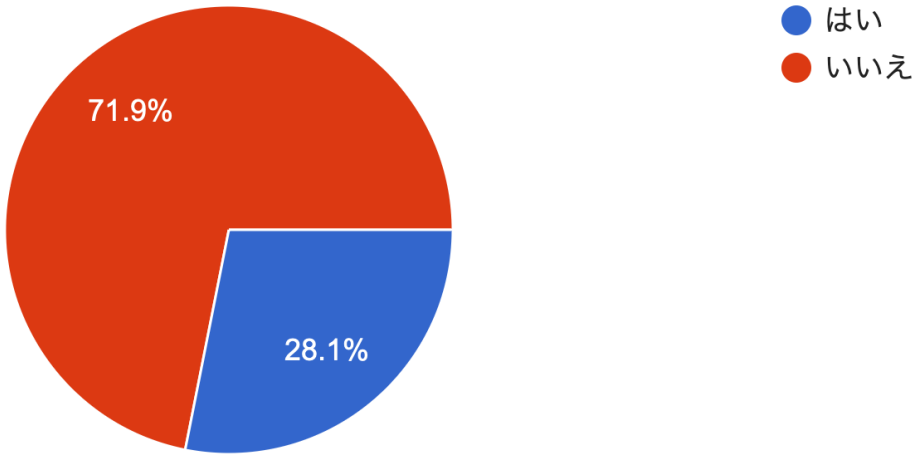
32 件の回答



4、バッジテスト

ジュニアライフセービングバッジテストを知っているか

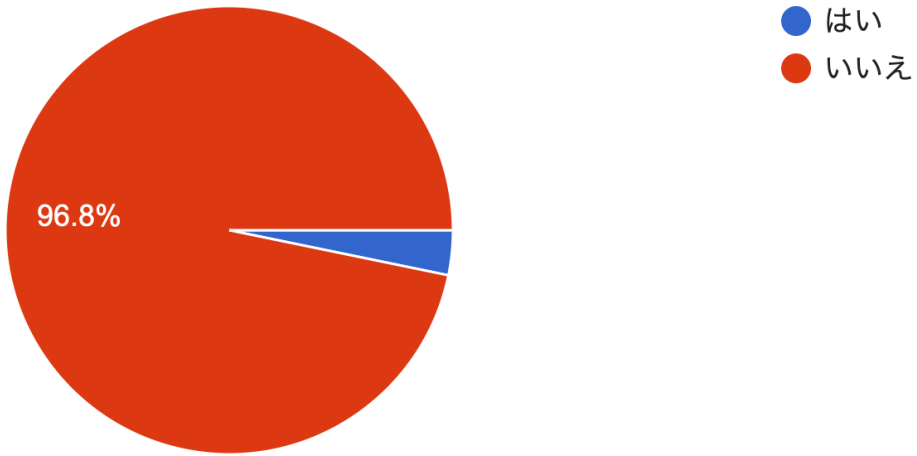
32 件の回答



4、バッジテスト

ジュニアライフセービングバッジテストを利用したことがあるか

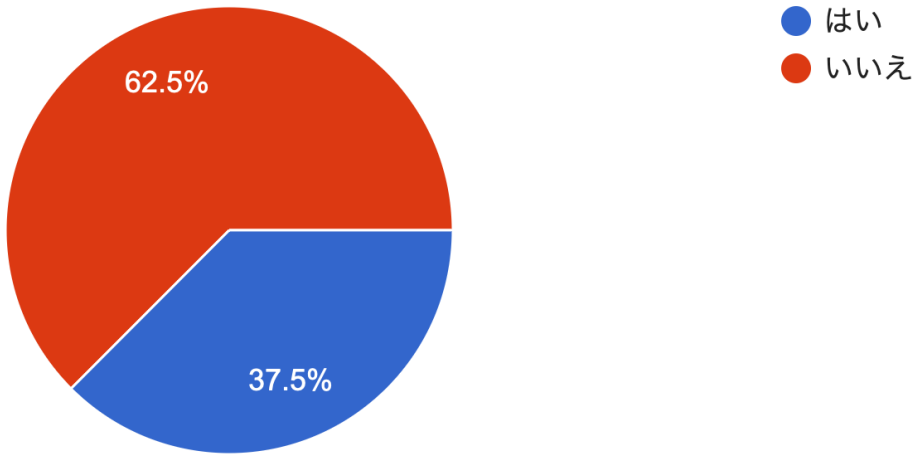
31 件の回答



5、ジュニアライフセービングかるた

ジュニアライフセービングかるたを知っているか

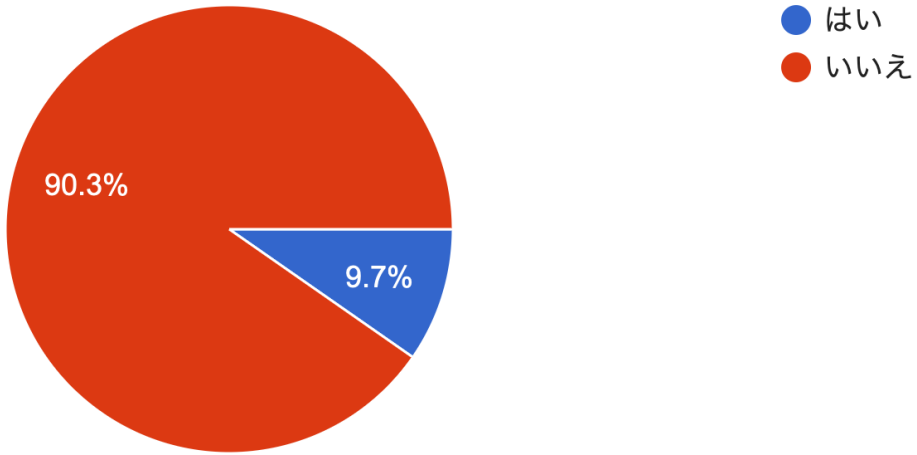
32 件の回答



5、ジュニアライフセービングかるた

ジュニアライフセービングかるたを利用したことがあるか

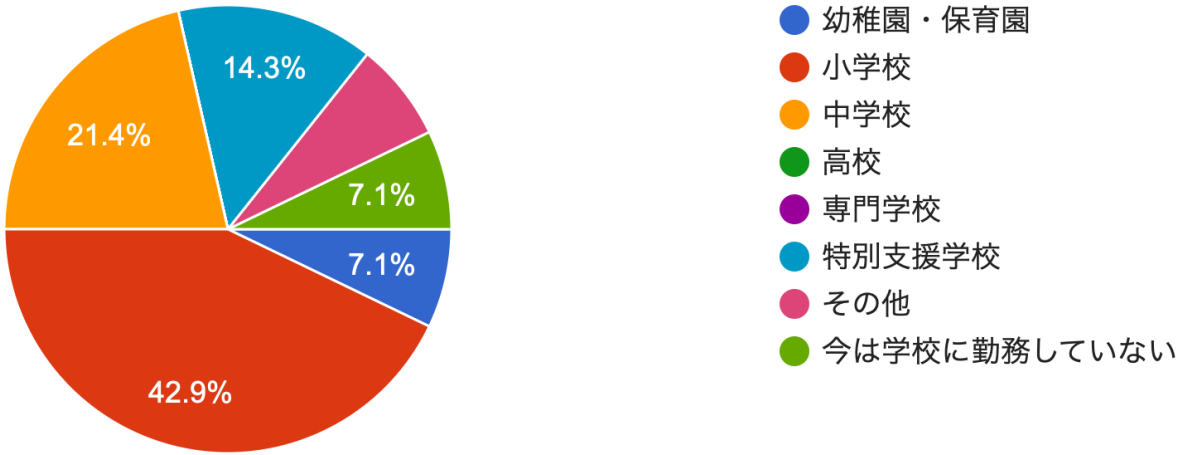
31 件の回答



6、学校関係者

校種

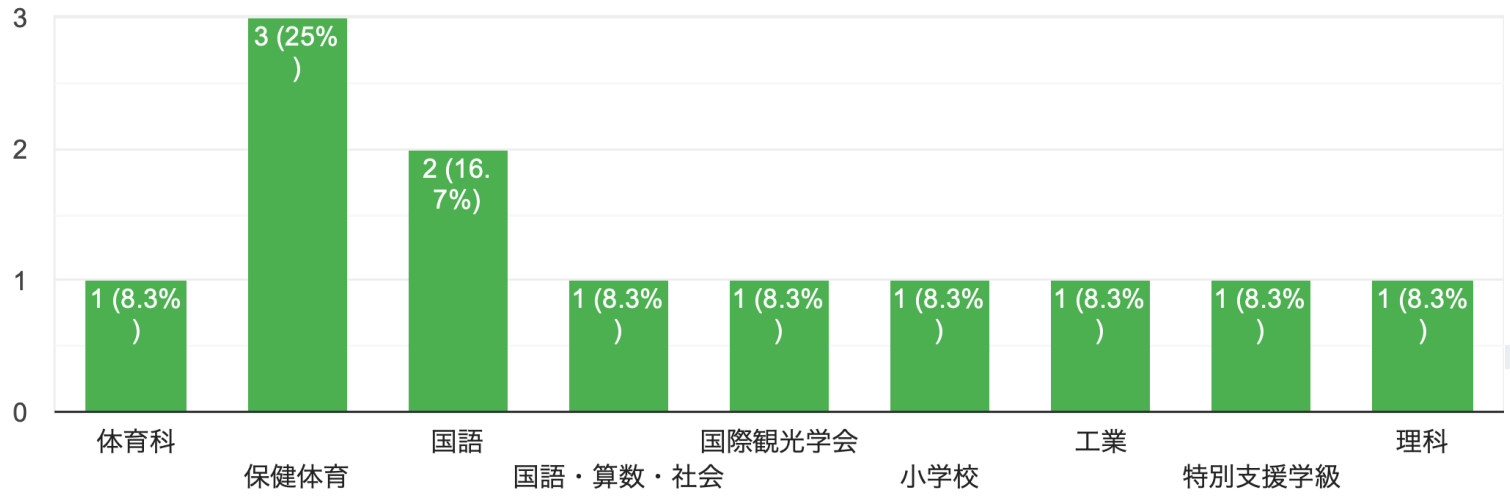
14 件の回答



6、学校関係者

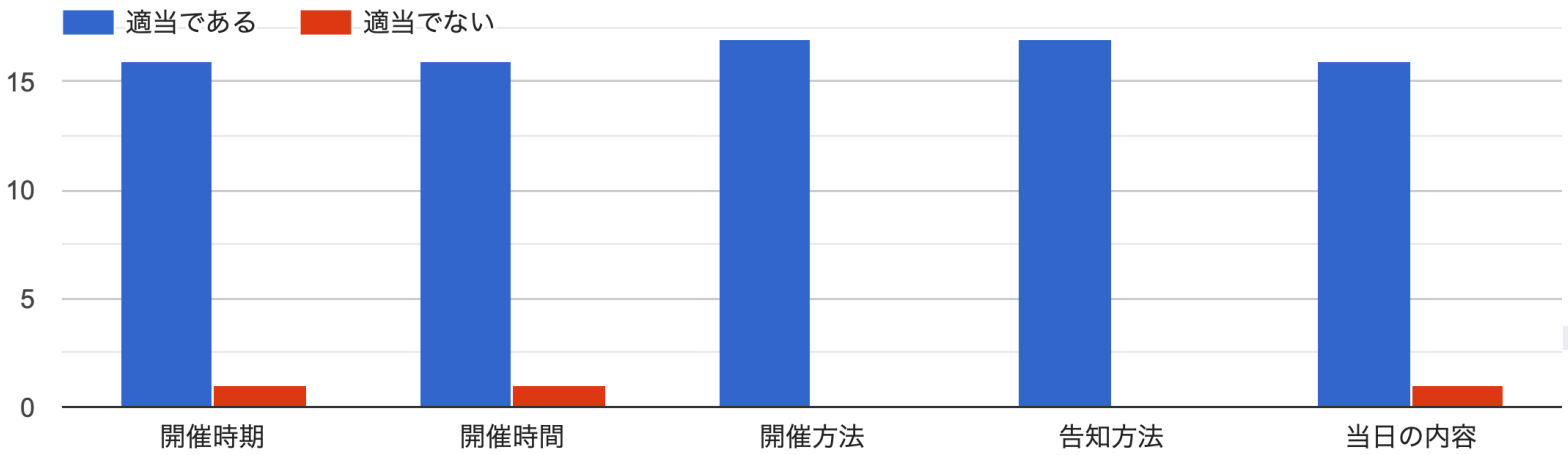
教科

12 件の回答



7、事後アンケート

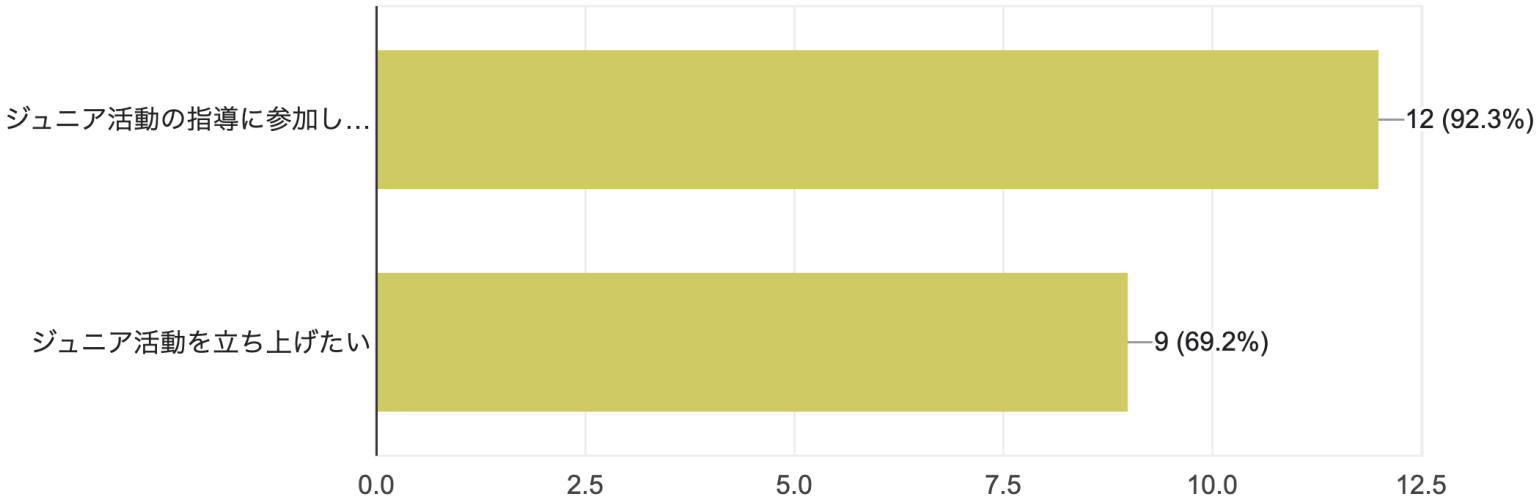
運営について



7、事後アンケート

現在ジュニア活動の指導をされていない方にお尋ね...該当する項目を選択してください　※複数選択可

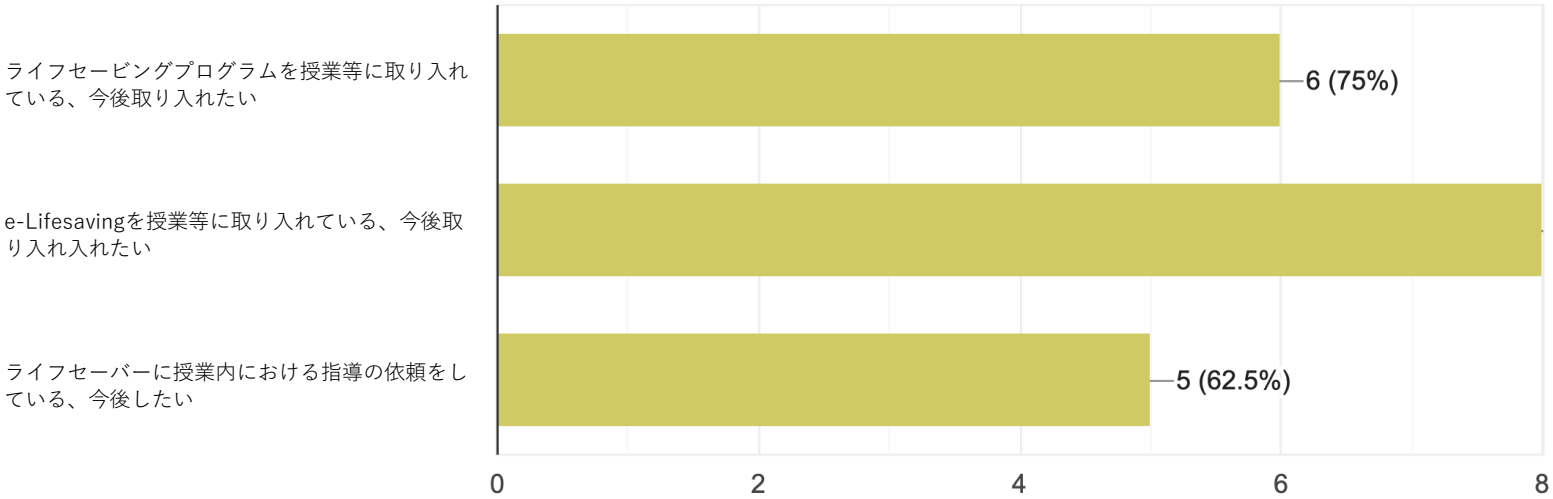
13 件の回答



7、事後アンケート

教員の方にお尋ねします。以下について該当する項目を選択してください　※複数選択可

8 件の回答



e-LIFESAVINGを取り入れたい参加者が100%
↓
研修会や時期クラブハウスへと繋げたい